

# 事業計画書

(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)

## 1. 教育助成事業

### (1)教育現場支援プロジェクトの実施

全国の国公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校への、以下に該当する教材・備品・設備の購入・修繕支援事業。

- ① 教育現場で必須となるもの
- ② 文化・芸術・科学教育のために必須となるもの
- ③ 校内での諸活動に要するもの
- ④ その他、教育環境の改善・充実に必須となるもの

助成件数                   : 約10件※  
助成金額                   : 1校あたり200万円まで  
助成総額                   : 600万円※

参考:平成27年度助成件数及び助成総額

助成件数                   : 12件  
助成総額                   : 573万円

### (2)加藤山崎奨学金の給付

日本国内の小学校、中学校、高等学校に就学している児童・生徒で、学業全般もしくは文化・芸術・科学分野のいずれかで優秀な成績をおさめ、かつ次年度に進学を控えた者を対象とする奨学金給付事業。次に掲げる項目を全て満たす者を対象とする。他の奨学金との併願・併給も可とするが、「3.加藤山崎修学支援金」との併給は不可とする。

- ① 日本国内の学校(国公立・私立を問わない)に在学する小学5年生、中学2年生、高校2年生
- ② 学業全般もしくは文化・芸術・科学分野で優秀な成績をおさめており品行方正である者  
\*学業成績においては、高校生は評定平均4.3以上を目安とし、小・中学生はそれに準ずる成績の者
- ③ 学校長が推薦する者(1校につき3名まで推薦可能)



給付総額 : 2,100万円※  
奨学金の使途 : (1) 学業に関する費用(授業料、学用品等)  
(2) 学校生活を送るのに必要な費用(給食費、修学旅行費等)

参考:平成27年度採用人数及び給付総額

採用人数 : 89名  
給付総額 : 1,177万円

※応募・審査状況により変動

## 2. 人材育成事業

### (1) 人材育成事業の研修プログラムの企画・準備・実施

人材育成事業の研修プログラムの詳細企画・準備・実施を行う。

#### ① 奨学金受給者のフォローアッププログラム

名称 : 軽井沢教室  
目的 : 自然や科学への理解を深め、豊かな人間性や想像力を育むこと  
場所 : 加藤山崎教育基金 軽井沢研修所  
開催期間: 平成28年8月8日(月)～8月10日(水)  
募集期間: 平成28年2月5日(金)～3月4日(金)  
対象 : 加藤山崎奨学金受給者または過去に受給した者  
募集人数: 約30名  
参加費用: 一人 2,000円  
活動予定: 有識者(科学技術に見識のある方)講演、科学実験、課外活動等  
費用見込: 参加者の交通費、科学実験費、課外活動費等として約250万円

#### ② 物理オリンピック日本委員会との研修合宿の共同開催

名称 : 国際物理オリンピック2017日本代表候補者キックオフ合宿  
目的 : 国際物理オリンピックに向けて各自の技能や、日本代表候補としての品格を高めること。  
場所 : 加藤山崎教育基金 軽井沢研修所  
開催期間: 平成28年9月17日(土)～9月19日(月)  
対象 : 国際物理オリンピック2017日本代表候補の高校生・中学生  
参加人数: 約20名  
活動予定: セミナー等  
費用見込: 参加者の宿泊費等として約30万円

## (2)軽井沢研修所の運営

昭和35年に加藤与五郎博士によって設立された軽井沢研修所の運営事業。

加藤博士が私財を用いて設立し、自ら講師として研修を行った研修所を保存するに留まらず、上記(1)の人材育成事業を行う場として有効活用することを目的とする。

利用は高等教育機関・研究機関(大学院・学会等)等が、定款第4条に沿う研鑽活動を実施する場合において許可するものとし、施設・設備の提供により科学技術の振興に資する人材育成を支援する。

- ・宿泊料収入見込 :年間800万円
- ・宿泊料 :一般 6,700円 (一泊2食付)  
学生 6,100円 (一泊2食付)

事業全体としては特定資産の取崩額 1,056万円、研修所宿泊収入800万円、特定資産受取利息 343万円を主な原資とし事業運営を行う。